

地域資源を WEB に残すウィキペディアタウンプロジェクト

団体名●映像ワークショップ合同会社（佐藤ゼミナール）

代表者名●佐藤 将（経済学部経済学科・講師）

はじめに

ウィキペディアタウンとは地域資源のウェブ記事として編集し、掲載する活動を通して地域資源の永続的な伝承に取り組む活動である。特に自治体予算の少ない地域においては広告代理店を通した規模の大きい宣伝よりも、ウィキペディアの記事を充実させることのほうが地域の認知度向上効果があり、地域発信としても有効的である。伝統芸能や文化は話せるがウェブ記事の執筆ノウハウがない地元住民とウェブ記事が執筆可能な若年層の双方をつなげることで、地域資源の情報発信も容易となる。

本プロジェクトでは加賀市を拠点としてウィキペディアタウンの活動を行っている映像ワークショップ合同会社とタッグを組んで活動を行った。

活動内容

日程：2024年12月1日(日)10:00～17:00

場所：志賀町福浦公民館(旧福浦小学校)

参加：スタッフ(金沢星稜大学1名、映像ワークショップ4名、講師2名)、参加者(福浦地区の地元住民14名、志賀町役場関係者1名、金沢大学学生2名、その他にスタッフ陣からの誘いを受けての一般参加者3名)

内容：今年度は講師を務めた高野宏康氏より紹介を受けて、北前船の発着地であった志賀町福浦を実施会場として選定した。映像ワークショップとしても加賀地域以外での初めてのワークショップの開催である。当日行った内容は以下の通りである。午前中は福浦地区の地域情報のレクチャー、午後はウィキペディア日本語版管理者であるあらいしょうへい氏よりウィキペディア編集のレクチャーを受けた。これらを踏まえて、6班に分かれてウィキペディア編集に取り組んだ。

成果、結果の考察

ウィキペディア編集のルールを意識したためか、執筆に苦戦した班もあったが、それでも地元住民の高い情報量、公民館に保管されている書籍の数々、あらいしょうへい氏の助言もあって、新規にウィキペディア上に作成した記事もできる等、地域の情報発信としては充実した内容となった。



新規に作成できたウィキペディアの記事の一部

今後の課題、展望

今回のワークショップでは志賀町福浦地区の地元住民の協力もあり、1日の長いスケジュールながら成功を収めることができた。今後も志賀町を起点としてよりウィキペディアの記事の精度が高められるようなワークショップを継続しての開催を目指す。またウィキペディアを使ったデジタルアーカイブの教育として高校生の参加も視野に入れて、高大連携の模索も検討していきたい。



宣伝ポスター



ワークショップの様子